

**平成28年度 印西市立原山中学校 全国学力・学習状況調査の結果について**印西市立原山中学校  
校長 関根 寿典

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。生徒にとっても学習に集中できるよい季節となりました。

さて、本年度 4 月 17 日に 3 学年生徒を対象に行われました、「全国学力・学習状況調査」の結果が判明しました。受験した 3 年生の生徒につきましては、個票を配布しております。本校全体の傾向につきましては、以下にまとめましたので、ご一読いただき参考にしていただければ幸いです。

## 記

## 1. 本校生徒の分析結果

**国語**

国語 A(主として知識)の本校の平均正答率は、全国平均をやや下回りました。また、国語 B(主として活用)の本校の平均正答率は全国平均をやや下回っています。

国語 A では「聞くこと、話すこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の 4 領域の正答率は 7 割台でした。9 の六「表題を書き直す」設問については、本校は全国平均を大きく上回りました。書写の継続的な指導が成果となって表れたと考えられます。また、9 の三「ウ」「オ」、9 四「イ」の語句や漢字の意味についての設問もよくできています。ただし、9 - 3「植える」が書けない生徒が全国比でやや多かったのが残念です。

国語 B では全体の分布は二極化しています。「書くこと」、「読むこと」の 2 領域の両方とも全国平均を下回りました。1 の一「文章の要旨をとらえる」の設問や、1 の三「根拠を明確にして自分の考えを書く」設問では、2 ~ 3 ポイント全国平均を上回りました。他方 2 の一「文章の構成をとらえる」、3 の三「必要な情報を読み取り自分の考えを書く」問題は逆に下回りました。

国語に限らず「基礎・基本」の定着が急務です。加えて「記述式」の問題は入試等でも重視されています。さまざまな資料を読み取る力や要約して自分の言葉で表現する力を伸ばすとよいでしょう。

**数学**

数学 A(主として知識)の本校の平均正答率は、全国平均よりやや低い数値です。一方、数学 B(主として活用)の本校の平均正答率も残念ながら全国平均を下回りました。

数学 A の「数と式」、「関数」については頑張りました。1 の(2)「自然数」に関する設問、2 の(4)「等式の変形」、3 の(2)「一元一次方程式の解の意味」については、全国平均や千葉県平均を上回りました。他方、「図形」や「資料の活用」については、苦手意識が大きく出たように感じます。6 の(1)「角の大きさ」の設問、1 3 の(2)「確率」の設問については、特に正答率が芳しくありませんでした。気になるのは無回答(空欄)の生徒の割合が少し高いことです。「図形」、「資料の活用」などについては、1 年生のときに学習した内容を、確実に復習する必要があるでしょう。

数学 B でも、「数と式」、「関数」については全国平均をやや下回っていますが、僅差です。1 の(2)「数量の関係を数学的に表現する」設問、1 の(3)「理由を数学的に説明する」設問、3 の(1)~(3)「一次関数についての応用問題」はいずれも全国平均を上回りました。数学 A で不振だった「資料の活用」でも、5 の(1)「資料から数学的に表現し説明する」設問で、正答率が県平均と同点でした。

他方、「図形」では 4 の(2)「三角形の形を説明」する設問、「資料の活用」では 5 の(2)「相対度数を求める式を書く」設問については全国平均を下回り、数学 A 同様、無回答(空欄)の生徒の割合が高かった点が残念です。数学についても「基礎・基本」の定着が必須です。また数学については数多くの

問題を解き、さまざまなパターンの問題に対応できる力を身につけてください。

## 生徒質問票から

「就寝時間」「起床時間」「テレビ視聴・ゲーム・メール等をする時間の自制」など生活習慣は全国平均に比べて良好な結果が出ました。また「話し合いで学級のきまりを作る」「学級会などで自分と異なる意見を取り入れる」など話し合い自体は好んで行っています。「将来の夢や目標」を持っている生徒は全国平均値を上回りました

一方で「きまり」「友だちとの約束」についてはややルーズな傾向が見られました。家庭学習は少しずつ改善され、取り組めるようになってきているようです。

今回の試験について、試験時間は「ちょうどよい」と答えた生徒が多かった反面、記述式問題については、「あきらめて答えなかった」と答える生徒が少なからず見られたのは残念でした。

## 平成28年度全国学力・学習状況調査結果

平成28年度全国学力・学習状況調査結果 平成28年4月17日実施 数字は平均正答率

	国語A	国語B	数学A	数学B	国語A:主として知識、国語B:主として活用 数学A:主として知識 数学B:主として活用
千葉県平均	76.1	66.9	60.3	42.7	
全国平均	75.6	66.5	62.2	44.1	

国語A	領域①	領域②	領域③	領域④	観点②	観点③	観点④	観点⑤	選択式	短答式
千葉県平均	79.3	73.8	78.9	74.4	79.3	73.8	78.9	74.4	74.4	79.8
全国平均	78.9	73.7	78.6	73.9	78.9	73.7	78.6	73.9	73.5	80.5

注) 領域①: 聞くこと、話すこと 領域②: 書くこと 領域③: 読むこと  
 領域④: 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 観点②: 話す・書く能力 観点③: 書く能力 観点④: 読む能力  
 観点⑤: 言語についての知識理解 観点①は関心意欲態度で該当設問なし

国語B	領域②	領域③	観点①	観点③	観点④	選択式	短答式	記述式
千葉県平均	58.1	66.9	58.1	58.1	66.9	71.1	72.3	58.1
全国平均	58.3	66.5	58.3	58.3	66.5	70.6	71.1	58.3

注) 領域②: 書くこと 領域③: 読むこと 観点①: 関心・意欲・態度  
 観点②: 話す・書く能力 観点③: 書く能力 観点④: 読む能力  
 領域①: 聞くこと、話すこと ④: 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
 観点⑤言語についての知識理解 については該当する設問なし

数学A	領域①	領域②	領域③	領域④	観点③	観点④	選択式	短答式
千葉県平均	64.6	65.5	49.4	53.8	65.1	55	56.9	62.3
全国平均	65.9	67.1	52	56.5	66.9	56.8	57.8	64.6

注) 領域①: 数と式 領域②: 図形 領域③: 関数 領域④: 資料の活用  
 観点③: 数学的な技能 観点④: 知識・理解  
 観点①: 関心・意欲・態度と②: 数学的な見方や考え方については該当する設問なし

数学B	領域①	領域②	領域③	領域④	観点②	観点③	選択式	短答式	記述式
千葉県平均	51.1	31.7	40.4	34.2	37.8	56.2	40.9	56.3	31.6
全国平均	51.5	33.3	41.4	39.3	38.9	58.5	41.3	57.8	33.1

注) 領域①: 数と式 領域②: 図形 領域③: 関数 領域④: 資料の活用  
 観点②: 数学的な見方や考え方 観点③: 数学的な技能  
 観点①: 関心・意欲・態度と④: 知識・理解については該当する設問なし